

高松支部 活動報告

1 研究主題

学びを人生や社会に生かそうとする
生徒の育成
～主体的・対話的で深い学びを考える
メディア教育の推進～

2 はじめに

令和4年度の屋島中学校において行われる研究大会に向けて、こういったメディアの活用が考えられるか、また、タブレットPCの一人1台導入にあわせて、PCの活用方法を模索することから始めた。

PCを生徒一人一人が特別な教具としてではなく、鉛筆やノートと同じように文房具として使うことができるためには、こういった使わせ方があるのかを考えていきたい。

3 研究計画

(1) 第1回研修会

- ① 日時：4月23日（木）中止
- ② 内容：紙面にて研究主題・組織などの確認

(2) 第2回研修会

- ① 日時：6月17日（水）中止
- ② 内容：臨時休業中のICT利用についての情報交換

(3) 第3回研修会

- ① 日時：9月24日（木）
- ② 場所：高松市立玉藻中学校
- ③ 内容：研究主題・組織・計画の確認
臨時休業中のICT利用についての情報交換

(4) 第4回研修会

- ① 日時：11月25日（水）
- ② 場所：高松市総合教育センター
- ③ 内容：これからの高松市のICT教育
SKY MENU Classの基本操作

(5) 第5回研修会

- ① 日時：2月24日（水）
- ② 場所：高松市立玉藻中学校
- ③ 内容：研究のまとめ
次年度に向けて

4 実践内容

(1) 第3回研修会

臨時休業中のICT利用について情報交換を行った。全ての家庭にインターネット環境が完備していないため、遠隔授業はできていなかった。附属高松中学校では、ZOOMを利用して朝の会や健康観察、学習の質問教室を実施した。ただし、家庭によってはインターネット環境がないため、参加できない生徒もいた。その家庭には電話での連絡などで対応した。

ほとんどの学校がホームページやブロ

グを頻繁に更新して情報提供を行っていた。ミッターメールの使用して連絡をとったり、アンケート機能を利用して健康調査を行ったりした学校もあった。

いくつかの学校では、ZOOMを利用して各教室にある電子黒板に映像を送り、全校朝礼を行っていた。生徒総会をZOOMで行い、各学級からの質問や意見を述べたり、各クラスの意見を集約して議決をしたりするような活用も行っていた学校があった。

ZOOMを利用することによって双方向のやりとりができるので、一方向のテレビ放送よりも活用できる幅の広がりがある。ZOOMを利用する際にいくつかの学校があげていた問題点として、回線の脆弱さにより映像がフリーズしたり、音声が途切れたりすることがあったようである。このことについては、今年度中にインターネット回線の改修工事が高松市立の全ての学校に行われるので改善されると思われる。

(2) 第4回研修会

① 講話「これからの高松市のICT教育」

高松市総合教育センター河田指導主事より、これからの高松市のICT環境がどうなっていくかの説明があった。

今年度3月までに一人1台のタブレットPCが配置され、使用できるようになる。家庭の環境によってPCが使える生徒とそうでない生徒がいると格差ができる。格差をなくす、小さくするためには

学校で同じ環境でしっかりと経験をさせてほしい、とのことであった。

② 演習「SKY MENU Class」の基本操作

高松市立の学校に導入されているSKY MENUを実際に操作し、学校のいろいろな場面でのPCの活用方法を考えた。現在はタブレットPCは学校に40台しか導入されていないため技術・家庭の授業以外では活用されていない。そのため、他教科の教員はSKY MENUをあまり使用したことがなく、今回の研修で初めて使用した先生も多かった。今回の研修を各校で広めて、全ての先生がPCを活用して授業を行ったり、学校生活のいろいろな場面で生徒に使用させることができるように、今年度中にスキルを高めなければならない。

5 反省と今後の課題

今年度はコロナによる臨時休業、会議などの自粛により、計画通りにできなかった面が多くあった。逆に臨時休業の場面ではICTを活用しての授業などで期待される部分も大きいと感じた。

ICT機器の環境を整えることについては、学校内の設備は今年度中にほぼ、できる見通しである。設備が整っても利用する側の教員のスキル不足が懸念されるので、研修を行って、教員のスキルアップが急務となっている。